

TEGAMI

新潟 市

暴力団に入った少年。

彼は、なぜ彼を愛する人まで不幸にしてしまったのか？

そして、彼自身は……？

父親？

「みんな。ごめん。」

さわって
みて？

誰だッ！？
何してるッ！

もう面会にも
ないし
てち
い!!!

お母さんに
出所しても
線香上げに来ない

これから的新潟市を担う青少年のみなさんが
暴力団に加入しないように



新潟市

置いておく

この手紙を読んでくれている皆さんへ

俺は今、刑務所にいます。

俺は暴力団に入って、家族や恋人などの周りの人を不幸にしてしまいました。

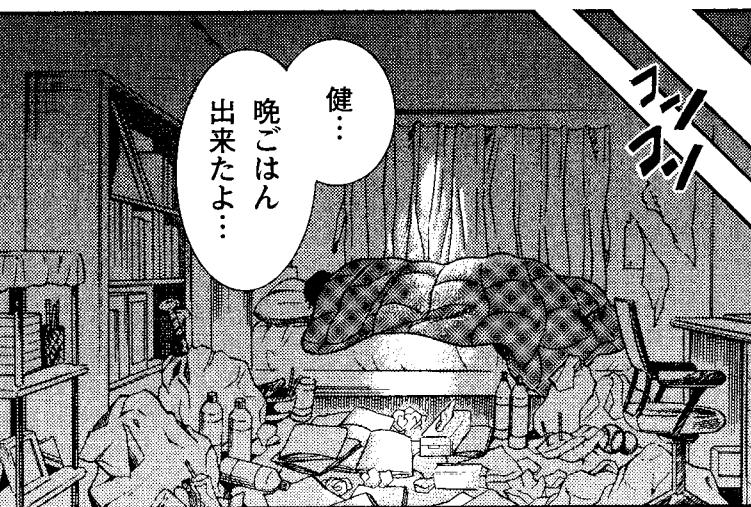
今では本当に後悔しています。

俺と同じような思いをして欲しくない…。
それをどうしても伝えたくて、皆さんに手紙を書きます。

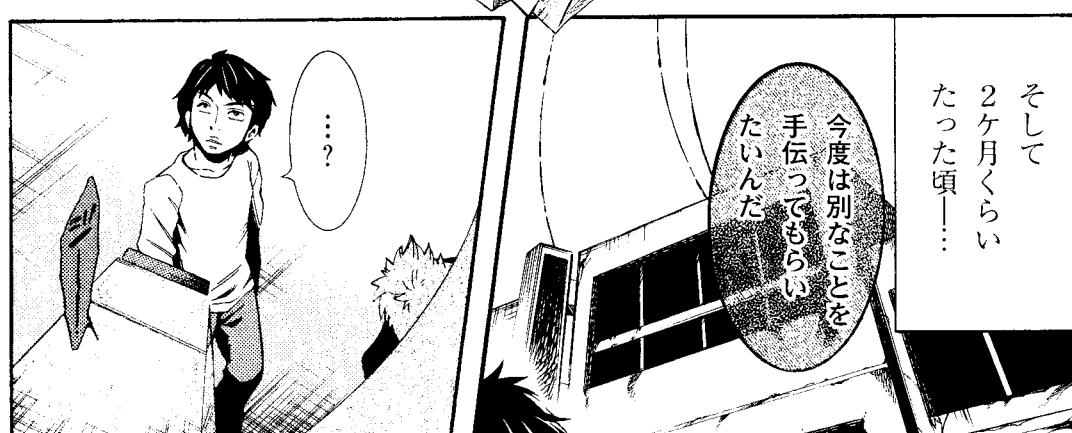
俺は、高校球児で甲子園を目指していました。高校2年の秋に交通事故に遭ってしまいました、元のようなプレーをすることができなくなってしまいました。

目標を失った俺は、何もかもが嫌になり、学校に行かなくなってしまったのです。

そして、俺は…









工藤先輩は暴力団員だった――



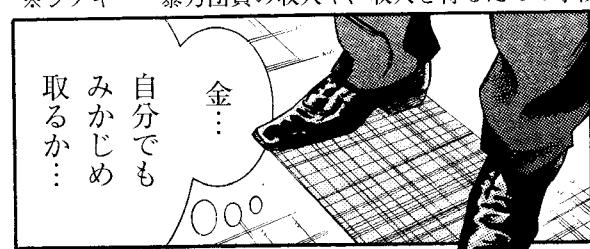
そのうちに
他のことも手伝うようになった

組の葬儀に
借り出されたり



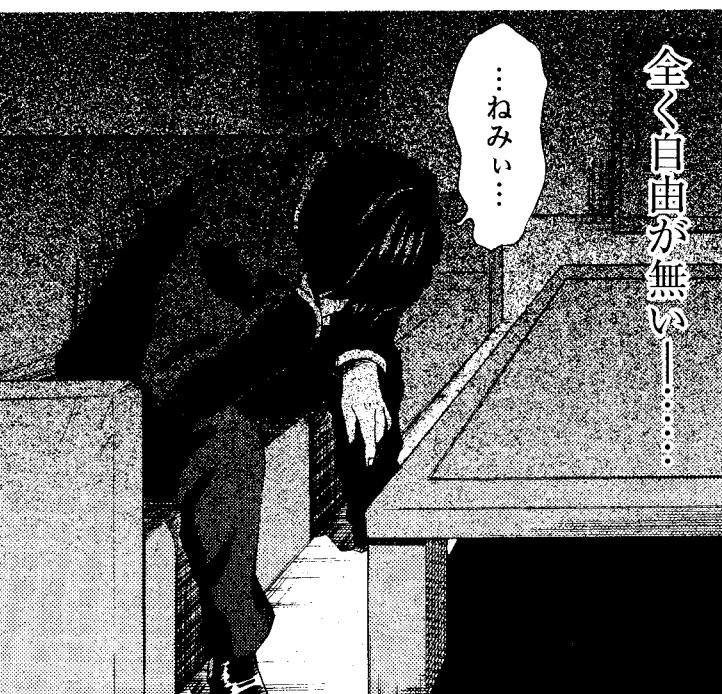


*シノギ ~暴力団員の収入や、収入を得るための手段





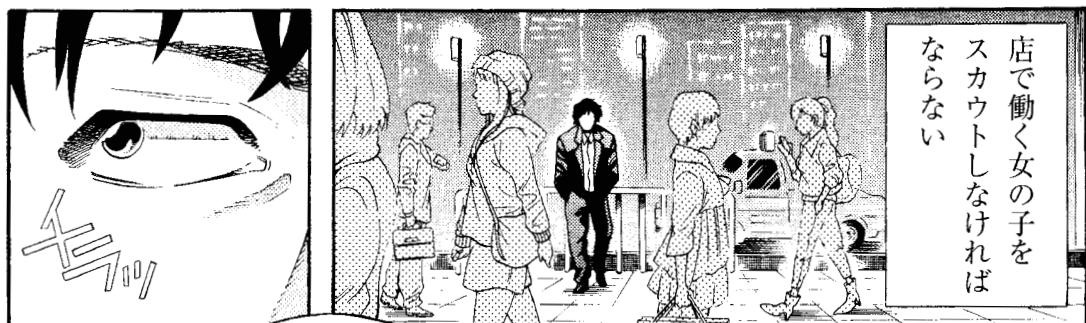
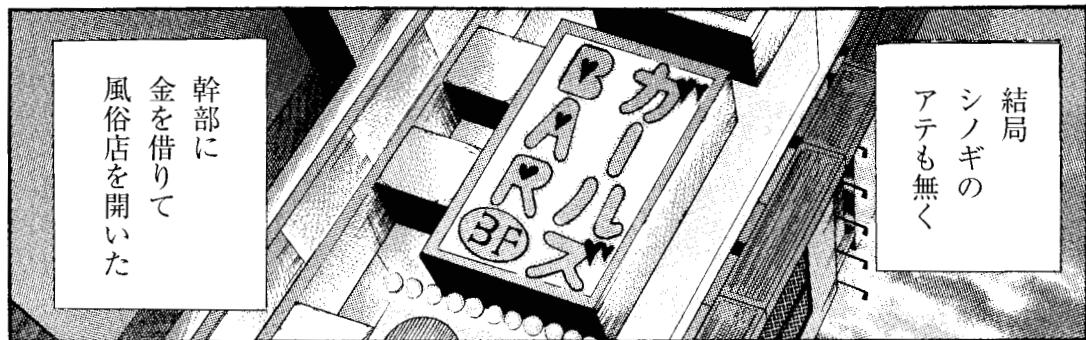
他を探すか…

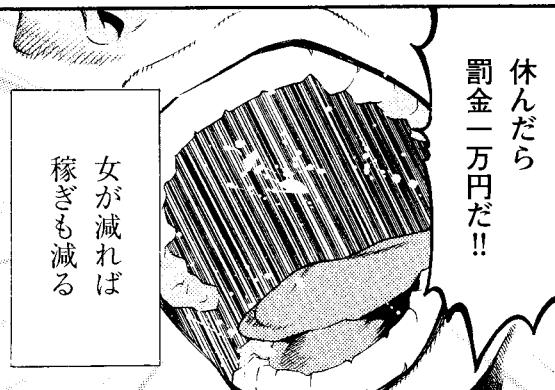


イチャモン
つけられ

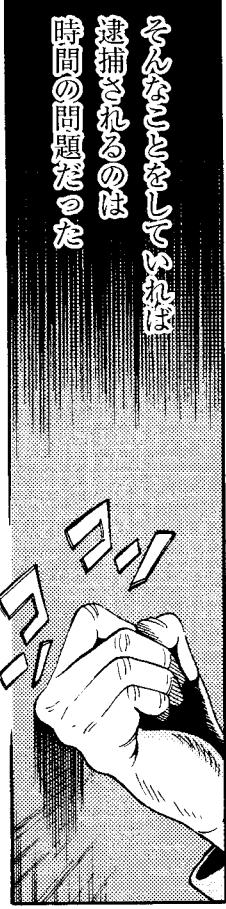


*上納金 ～暴力団の親分が配下組員から会費などの名目で半ば強制的に徴収する金銭



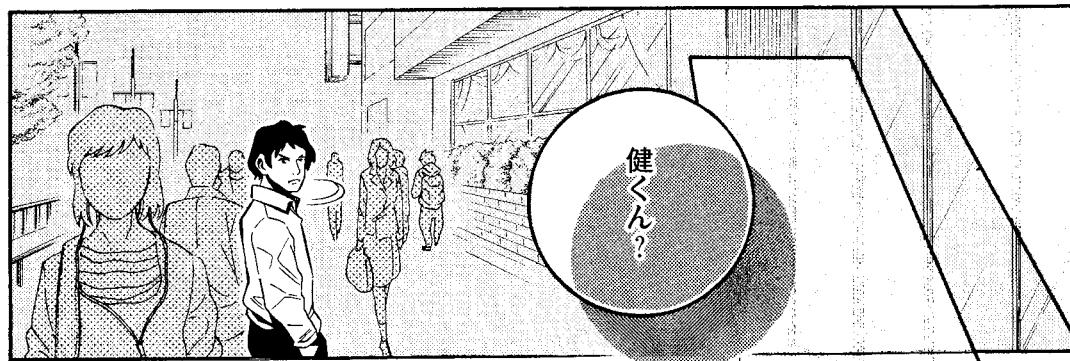


そんなことかしておれば
逮捕されるのは
時間の問題だった



少女と覚せい剤の件で刑務所に入つた
幽所する時、俺は22歳になつていた





暴力団員だということは
黙っていた

俺たちは
付き合うようになった

かおり
香…か?

付き合って
しばらくした頃

ん?

ねえ
健くん…

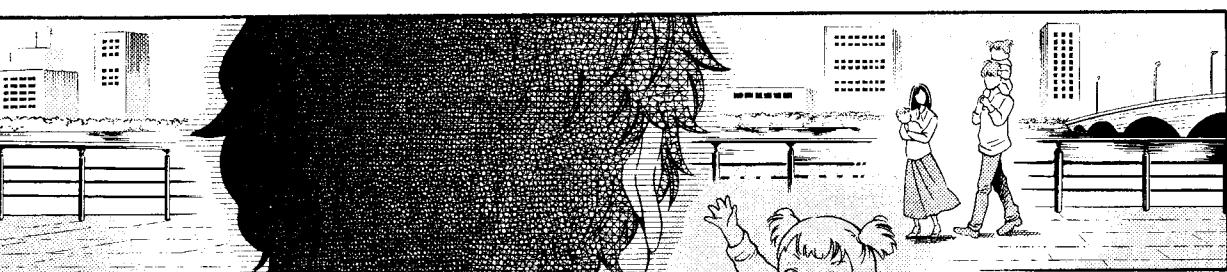
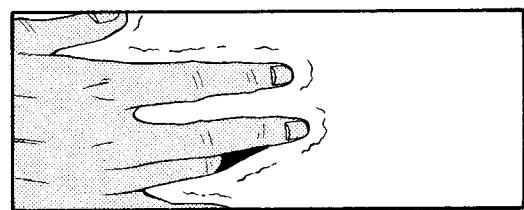
健くん
お父さんになる

だつた

香は
高校時代の
同級生で

野球部の

マネージャー

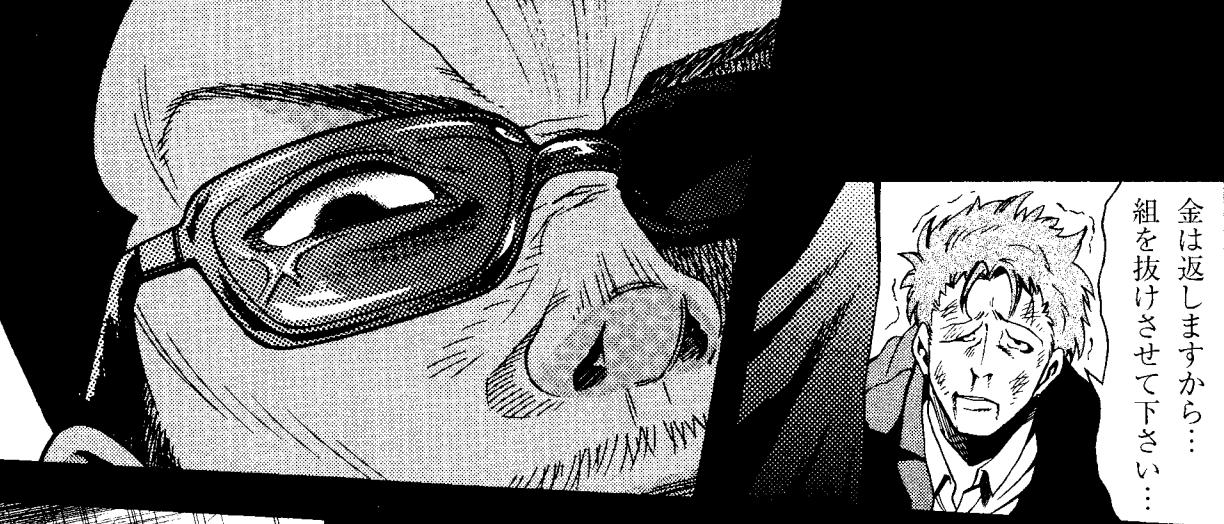


健、すぐ事務所に来い!!
工藤が組の金持って
逃げやがった!!

暴力団を辞めることが
どれだけ大変なことか
知っていた



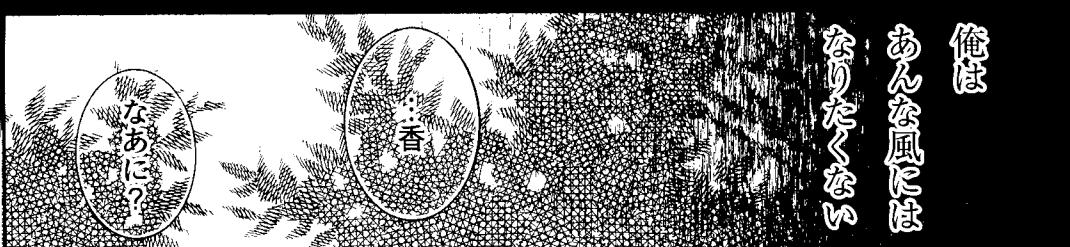
金は返しますから…
組を抜けさせて下さい…



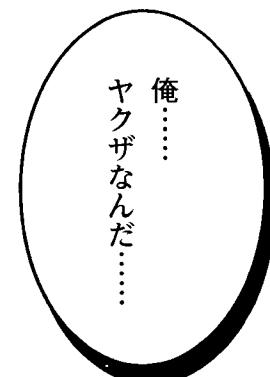
工藤先輩は
組を辞めさせて
もらえず

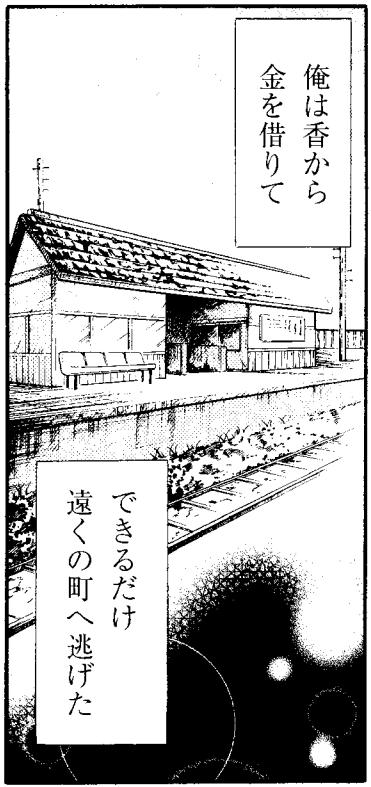


下つ端になつて
雑用係をしている



俺…
ヤクザなんだ…





※カタギ～暴力団と関係ない人。まじめで地道な職業やそれに従事する人。



俺は事務所に
ケジメをつけに
行くことにした

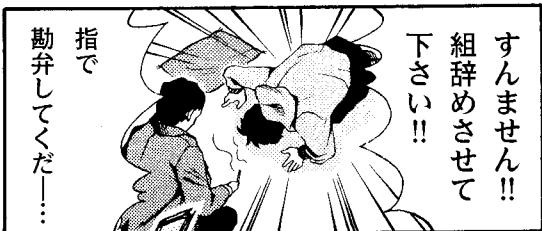
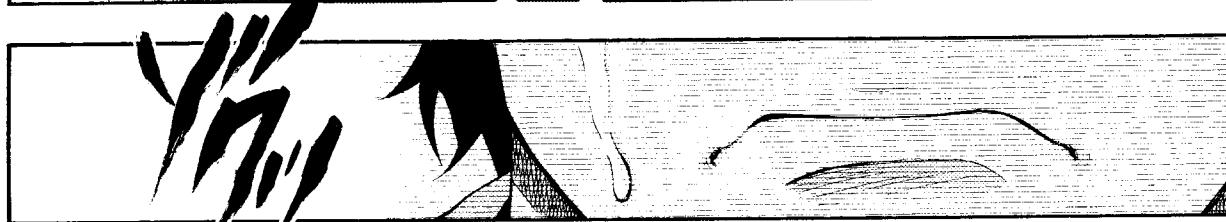
指を落としたら
工場は雇つて
くれるだろうか？

まあ
座れや

待つてたぜ

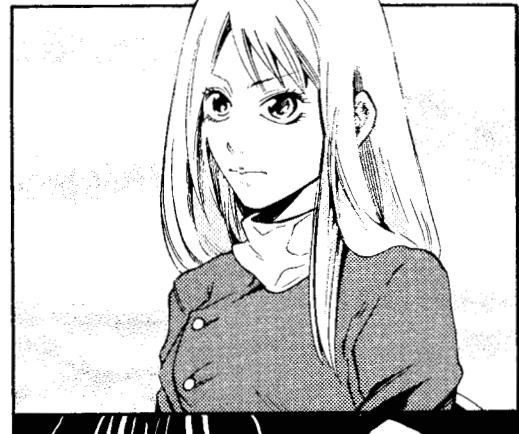
くせえ…
何の臭い？

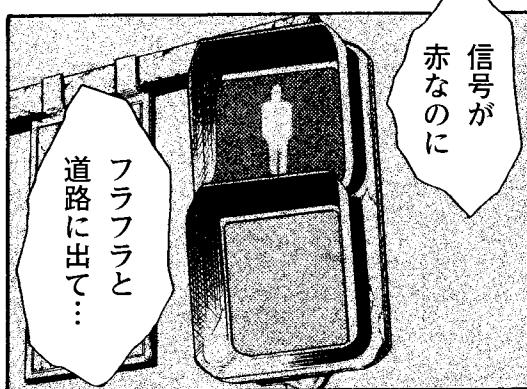
ガソリン!
この座布団!







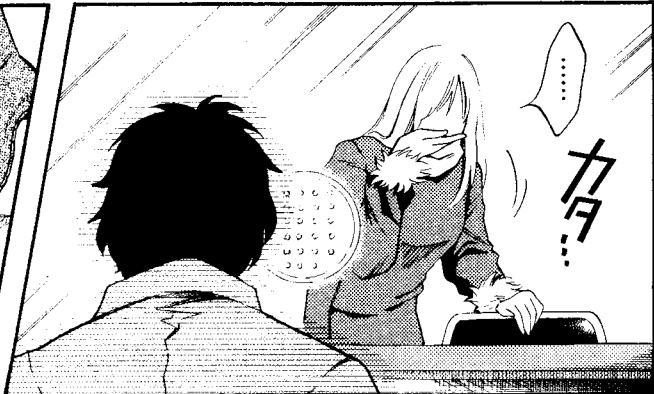




アンタのせいで
どれだけの人の人生
狂わせたと思つてんの!!

もう面会にも
来ないし
家とも縁を
切つてちようだい!!!

出所しても
お母さんに
線香上げに来ないで!!!





暴力団員だったころは金を稼ぐことが全てで、風俗店にスカウトした女の子の将来や、覚せい剤を買った人の行く末など全く考えていませんでした。

俺の自分勝手で安易な行動のせいで、家族や恋人までも巻き込んでしまった。

皆さんも、挫折を味わうことや、落ち込んだり、投げやりな気持ちになったりすることがあると思います。

そのときの一時の気持ちで道を踏み外してしまって、後戻りはできません。

俺も高校時代に戻りたい。交通事故の直後でもいいから戻りたい。そしてやり直したい。でも、もう戻れません。

皆さん、俺みたいにならないでください。暴力団に入るということは、自分の可能性を消し、周囲の人までも不幸にするということなのです。

注) この漫画はフィクションであり、実在の人物や団体などとは一切関係ありませんが、ストーリー構成は報道や手記などを参考にしています。十分に起こりえる事態を想定し、「青少年を暴力団に入らせない」という思いを込めて作成した物語です。

このまんがの主人公が暴力団にならないためには
どのような方法があったのでしょうか？

暴力団になるように誘われたとき、
暴力団になってしまった後でもやめようと思ったとき、
『相談する場所』があります。

あなたは決して一人じゃない。
一人で悩まないで早めに相談してください。

暴力団に関する相談窓口

【新潟県警察本部刑事部組織犯罪対策第二課】

☎ 025-285-0110 (警察本部代表電話)

【新潟市内各警察署（担当：刑事課暴力団担当係）】

新潟北署 ☎ 025-386-0110	新潟東署 ☎ 025-279-0110
新潟署 ☎ 025-249-0110	新潟中央署 ☎ 025-225-0110
江南署 ☎ 025-382-0110	秋葉署 ☎ 0250-23-0110
新潟南署 ☎ 025-373-0110	新潟西署 ☎ 025-260-0110
西蒲署 ☎ 0256-72-0110	

【公益財団法人 新潟県暴力追放運動推進センター】

☎ 025-281-8930 (やくざゼロ)

— 新潟市暴力団排除条例に関するこ —

【新潟市市民生活部 市民生活課 安心・安全推進室】

☎ 025-226-1110 (直通)

新潟市青少年用暴力団排除教育まんが「手紙」

発行・制作 新潟市役所市民生活課
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1
TEL: 025-228-1000 (代表)
<http://www.city.niigata.jp/>
E-mail:shiminseikatsu@city.niigata.lg.jp

印刷・製本 株式会社 新潟印刷

まんが作画 佐藤 未来子
まんが制作協力 日本アニメ・マンガ専門学校
監修 新潟県警察
発行日 令和3年(2021年)3月

新潟市青少年用暴力団排除教育まんが「手紙」は、デジタルブックでもご覧になれます
〈新潟市ホームページ〉トップページ ▶ くらし・手続き ▶ 防犯・消防・交通安全 ▶ 暴力団排除 ▶ 青少年を暴力団から守りましょう!
もしくは「新潟市暴排まんが手紙」で検索